

2021 年度（第 43 期）

# 事業報告

自：2021 年（令和 3 年）4 月 1 日  
至：2022 年（令和 4 年）3 月 31 日



〒621-0027

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷 18-2

公益財団法人 関西盲導犬協会

会長 平芳 一法

公益財団法人 関西盲導犬協会 2021年度事業報告書  
(2021年4月1日-2022年3月31日)

1. 公益事業部門

1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

(1) 盲導犬貸与計画

①貸与頭数

2021年度の盲導犬の貸与頭数・貸与者は以下のとおり。

NO.	使用者証 番号	代替 新規	性別 年代	都道 府県	犬名	犬種	性別	貸与日
1	7435	代替	女 (70代)	滋賀県	リオン	LR	オス	6月26日
2	7436	代替	女 (50代)	岡山県	リバー	LR	オス	7月9日
3	7437	代替	男 (70代)	京都府	オパス	LR	メス	9月14日
4	7438	代替	男 (40代)	兵庫県	ルゲル	LR	メス	10月6日
5	7439	代替	女 (50代)	大阪府	ライリー	LR	オス	11月1日
6	7440	代替	男 (60代)	滋賀県	リオン	LR	オス	12月18日
7	7441	代替	男 (50代)	兵庫県	リオン	LR	オス	1月17日
8	7442	代替	男 (40代)	大阪府	ジョリー	LR	メス	1月23日
9	7443	代替	男 (60代)	福井県	シェリー	LR	メス	3月11日
10	7444	代替	女 (70代)	大阪府	ヴァイラ	LR	オス	3月29日

(犬種: LR: ラブラドル)

②盲導犬実働数・ユーザー数

2021年度末の盲導犬実働数・ユーザー数は以下のとおり。

夫婦で1頭の盲導犬を使用する「タンデム」ユニットが現在3組。

	盲導犬実働数 (頭)	盲導犬ユーザー数 (人)
2021年度	59 (-1)	62 (-1)

( ) は前年度からの増減数

③新規盲導犬ユーザー獲得の取り組み (新規希望者への働きかけ)

新型コロナにより、体験歩行会等の「イベント」を通しての新規希望者確保の取り組みはできなかったが、個別の問い合わせ者には、新型コロナの状況を見ながら積極的に体験歩行を実施した。その結果、面接などその後の手続きを経て8名の新規希望者を確保できた。

(2) 盲導犬ユーザーへのケア (フォローアップ)

①フォローアップの実施

新型コロナの状況を見ながら、盲導犬ユーザーへの下記フォローアップを実施した。訪問によるフォローアップと、電話による状況確認および相談フォローアップは以下のとおり。

1. 訪問フォローアップ		140件 (前年度153件)
内訳	定期	59件
	共同訓練直後	8件
	ファミリーリゼーション	12件
	犬の健康管理 (高齢犬の健康診断を含む)	20件
	犬の問題行動	23件
	その他	18件
2. 電話フォローアップ		124件

## ②盲導犬医療費の助成

盲導犬の飼養に係る予防的医療費（狂犬病および混合ワクチン）およびフィラリア予防薬の購入費助成を継続した。

## ③高齢盲導犬へのケア

引退を間近に控えた9歳齢ならびに10歳齢の盲導犬に対する健康診断費を当協会負担で継続実施し、その健康状態を把握した。

## (3) 犬の育成・ケア

### ①繁殖・パピー・訓練犬の状況

- ・ 出産頭数：53頭（うち45頭をパピーウォーカーに委託、8頭は次年度の委託）
- ・ 繁殖犬数：24頭（オス10頭、メス14頭）
- ・ パピーウォーキング（巡回指導246回、パピースクール44回）
- ・ 訓練犬52頭（前年度からの在籍犬12頭、2021年度からの訓練犬40頭）

### ②国内外の協力先との連携

- ・ A G B N (Asian Guide Dogs Breeding Network) の総会ならびに実務会議に出席した。  
（2021年5月・9月）
- ・ 国内他協会からの譲渡犬（パピー：2頭、メス繁殖犬1頭）

### ③凍結精液の利用

前年度の不受胎事例を検証し、凍結精液の作成手順を見直した。

### ④他協会からの繁殖犬の導入

前年度から交渉していた雌犬1頭を繁殖犬として導入した。

### ⑤リタイア犬への医療費補助

混合ワクチン接種費用を除いた医療費、療法食、葬儀費に計3,135,378円の助成を行った。

### ⑥獣医師会との連携

公益社団法人京都市獣医師会による協会所有犬の定期健診・検査を継続した。  
（毎月1回、計12回実施）

## (4) 訓練部の体制変更（夏季の訓練体制）

前年度同様、共同訓練の候補犬と訓練継続が必要な犬以外は、夏季訓練を中断し、その訓練犬をボランティア宅への短期委託を実施。2021年度は1回の委託期間を短縮し、交代頻度を上げることで訓練犬の訓練パフォーマンスの維持を図った。

## (5) 訓練部職員のスキルアップ

### ①認定NPO法人全国盲導犬施設連合会の主催セミナー

オンライン開催による以下のセミナーに、訓練にかかわる職員が参加した。

- ・ 第7回盲導犬育成ジャパンセミナー（2022年2月17日）
- ・ 職員相互研修事業「パピープログラム」（2022年3月3日）
- ・ 職員相互研修事業「犬舎管理」（2022年3月17日）

### ②訓練担当者の訓練士資格取得

2名の職員に対し、盲導犬訓練士・歩行指導員資格取得プログラムを継続し、うち1名が全国盲導犬施設連合会の資格認定審査に合格した。（資格発行日は2022年4月1日付）

### ③海外の盲導犬育成施設への職員派遣

新型コロナのため、本年度も検討・実施を見送った。

### ④国際盲導犬連盟セミナー

新型コロナのため、引き続き開催が見送られた。

## (6) 盲導犬貸与委員会

公正な盲導犬貸与を実施することを目的に、外部委員を含めた「盲導犬貸与委員会」の開催を継続した。（毎月1回、計12回開催）

## (7) フレンドドッグ事業

- ・新型コロナのため、前年度に続き、高齢者ならびに障がい者施設でのフレンドドッグ活動は全て休止した。
- ・「亀岡市盲導犬ふれあい事業」として、亀岡市の委託による亀岡市立保育所・こども園9施設に対し、各3～4回、フレンドドッグ活動を行った。

## (8) 調査研究

京都大学大学院文学研究科と「木香テラスの有用性」に関する共同研究を継続した。

## 1-2. 相談事業

### (1) 苦情ならびに相談に関する対応

2021年度に受けた苦情ならびに相談の状況は、総数18件であった。例年より件数が少ない理由としてコロナ禍により盲導犬ユーザーの外出機会の減少が影響しているものと考えられる。

#### ①入店ならびに利用拒否等の相談：3件

- ・医療機関：2件（1件は継続対応中）
- ・飲食店：1件（解決済）

#### ②盲導犬ユーザーの受け入れに関する相談：3件

- ・マンション管理会社から入居者の盲導犬使用について：1件（情報提供済み）
- ・ユーザーのホテル宿泊について：1件（情報提供済み）
- ・美容室での受け入れについて 1件（情報提供済み）

#### ③ユーザーの盲導犬への不適切な扱いに関する相談：9件

- ・盲導犬への虐待・不適切な対応：6件（当協会の該当ユーザーなし、3件は他協会ユーザー、その3件は全国盲導犬施設連合会を通じて照会するも該当協会不明）
- ・夏場の移動：2件（情報提供済み）
- ・手引き中の盲導犬への対応について：1件（情報提供済み）

#### ④その他の相談・問い合わせ等：3件

- ・ボランティアの対応について：2件（1件は当協会ボランティアに指導、1件は他協会ボランティアのため該当協会が対応済み）
- ・ACジャパンの広告についての苦情：1件（回答済み）

### (2) 他機関との連携

盲導犬ユーザーの盲導犬の扱いに関する苦情について、全国盲導犬施設連合会と連携し、また盲導犬受け入れについて解決した事例について、それぞれ行政窓口へ報告した。

## 1-3. 啓発普及活動

### (1) 啓発普及活動

#### ①定例見学会の実施ならびに団体等の見学受け入れ

- ・従来方式（当協会を会場）での見学会：6回
- ・YouTubeによるオンライン見学会：8回
- ・団体見学の受け入れ：4件58名（※うち1件は、オンライン見学会）

#### ②ユーザー主体の啓発普及活動の実施

新型コロナのため、学校での講演依頼はキャンセルも多かったが、それ以外での啓発の機会は、前年度に比べやや増えた。詳細は以下のとおり。※[ ]内は、ユーザーの講演件数

- ・学校での講演活動：25[10]件
- ・イベントならびに社会奉仕団体等の例会、企業研修等での講演：32[3]件

#### ③機関紙「ハーネス通信」の発行

例年通り、4・7・10・1月の計4回、それぞれ墨字版・点字版・CD版を発行した。

④ホームページや各種ソーシャルネットワーク（SNS）を活用した情報発信  
新型コロナ禍において、ホームページならびに各種SNSでの頻繁な情報発信に努めた。

⑤行政ならびに他機関との連携

- ・全国盲導犬施設連合会発行「盲導犬情報」の編集作業を受託した。
- ・視覚相談会：2回（京都府家庭支援総合センター主催／長岡京市・亀岡市）
- ・視覚障がい者対象の盲導犬体験歩行会：2件（長岡京市／HOTPOTの会）
- ・JR西日本から駅設備変更等の情報提供を受け、駅を利用するユーザーへの連絡を行った。
- ・日本歩行訓練士会による阪急嵐山駅でのホーム歩行体験会に歩行指導員1名を派遣した。

## （2）協会主催・共催イベント

①協会主催イベント

- ・「盲導犬Love's フェスタ2021」をYouTubeのライブ配信で開催した。  
（2021年4月29日）
- ・「慰霊の日（偲ぶ会）」は、前年度に続き、小冊子・CDを作成し関係者に配布し、職員による献花と黙禱の様子をホームページならびに各SNSで配信した。
- ・「ボランティアズ・デー」は、中止とした。

②「盲導犬貸与報告会」

「盲導犬Love's フェスタ2021」にて、貸与者の報告動画を配信した。

③京都府の視覚障害者団体との共催イベント

「白杖安全デー（オンライン）」、「あい・らぶ・ふえあ（チラシ作製と配布）」のそれぞれに職員を派遣して共催イベントを実施した。

## 2. 管理部門

（1）収入と支出に関する取り組み

①新型コロナにより引き続き対外的な活動は控えざるを得なかったが、各種SNS等を活用して広く支援・寄付を呼びかけた。

②クラウドファンディングの実施

- ・協会所有犬に対する医療費の確保を目指し、前年に続きREDYFOR株式会社によるクラウドファンディングを実施した。（支援金計874万円）
- ・また同社による継続寄付プログラムを利用し、継続的な支援の呼びかけを開始した。

③亀岡市の協力のもと、「ふるさと納税」を活用した支援の呼びかけを行った。

④データ管理システムの見直し

支援者への働きかけ等をより効率的に行うことを目的に、新たなデータ管理システムの導入を図った。

⑤内閣府より「紺綬褒章」の公益団体として認定された。（2021年7月26日）

⑥現状報告（2021年度末、現在）

a. 賛助会員

・総賛助会員数	1,347件	（前年度から1件減）
正会員	1,128件	（前年度から33件減）
後援会員	37件	（前年度から1件減）
法人会員	31件	（前年度から2件増）
マンスリー会員	93件	（前年度から14件増）
せんえんサポーター	53件	（前年度から19件増）
青少年会員	5件	（前年度と同じ）

b. 募金箱

- ・設置件数：1,657件（前年度から34件減）

- ・回収金額：9,903,977円（前年度実績9,500,326円）

c. 街頭募金

- ・実施回数：39回（前年度実績35回）
- ・募金額合計：3,644,343円（前年度実績2,108,921円）

d. 募金型自動販売機

- ・設置台数：75台（14台設置・撤去8台）

**(2) 労働環境の整備**

法律の改訂や労働環境改善の迅速な対応を目的に、外部社労士と顧問契約をする方針とした。

**3. 施設整備ならびに備品購入等**

**(1) ホームページの改訂**

「紺綬褒章」のページを追加等、随時、必要個所の修正と追加を行った。

**(2) 情報発信のための機器購入**

オンラインイベントならびにオンライン会議のための機器を購入した。

**(3) 車両の購入**

- ・日本郵便年賀寄付金の助成により、訓練用普通車1台を購入した。
- ・株式会社ウインドクリエイティブの助成により訓練用軽自動車1台を購入した。

**(4) その他の施設整備等**

- ・株式会社ウインドクリエイティブの助成により、本館の防災カーテンを交換した。
- ・京都東ライオンズクラブの助成により、本館ホールに犬の滑止めのゴムマットを敷設した。
- ・株式会社吹上技研コンサルタントの助成により、リラックスルーム（本館二階）のエアコンを交換した。